



# CAGLIERO 11

カリエロ



181 2024年1月

## サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



### 友人の皆さん、

「軍隊は胃袋で前進するのだ！」ナポレオンは天才でした。史上最高の軍事戦略家であり、広大な帝国を築きました。彼はまた、現実的そのものでした。自分の力を知っていましたが、その数々の見事な勝利を勝ち取ってくれた人々のニーズをも理解していました。人々は世話を必要とし、食べることが必要でした。

世界のサレジオ・ミッションのために、物的な必要をまかなう資金源を探すお手伝いをする中で、さまざまな形で貢献する機会を与えられたことを私は幸せに思います。この奉仕に就いてから8年近くがたった今、私は次の段階に進みます。この世で、教育を通して福音宣教し、福音宣教を通して教育を行っているすべてのサレジオ会員、サレジオ家族の皆さんにごあいさつを送ります。

新しい年に、そしてサレジオ・ミッションを生きる皆さんの人生を通じて、成功の実りがありますように。

■ 間もなく退任する  
宣教部門メンバー  
MCジョージ・  
メナムパランピル神父, SDB

## 希望をもたらす宣教師の新たな世代



ヨーロッパの首都、ブリュッセルのサレジオの学校には、100か国は下らない多くの国籍の生徒がいます：西ヨーロッパの大都会に見られる幅広い多様性が表れています。**互いに相手を敬う対話へと若者を導く**ことに成功するとき、若者たちは、たいへん大きな豊かさを発見し、多くを学び合うことができます。多文化、多宗教の現実、ますますグローバル化し互いに結びついたこの世界を映し出すものです。

サレジオ会BEN管区（北ベルギー、オランダ）からは、私たちの歴史を通じて幾百人もの宣教師がすべての大陸へと赴いてきました。そのうち、病気や高齢のため、私たちの管区に帰って来た会員もいます。そのような宣教師が、管区のほとんどすべての共同体にいて、異なる文化の体験をもたらしています。**それは私たちの世界を広げます**。共に生きること、ミッションを広げてくれます。時には、より広い視野で物事を見る宣教師たちのおかげで、自分たちの問題を過大に見ないよう私たちは助けられます。

時はめぐり、BEN管区は今、ほかの国々から若い会員を迎えることができ、大変恵まれています。ほかの国々の宣教師・会員との結びつきが、管区の歴史を通じて常に深かったため、この新たな世代の宣教師を迎えることに会員の心は大きく開かれています。地元で育った召命が少なくなっている世界のこの一隅に、新しい宣教師たちは希望をもたらしてくれます。彼らは新しい熱意をもって若者と接し、**自分の信仰をあかしすることを恐れません**。彼らが遣わされる若者たちは、サレジオの若い宣教師を受け入れることに全く抵抗がありません。若者たちは、実に多様な社会の中で生きること慣れているからです。

私たちの共同体でも、多様性は疑いようもなく豊かさです。互いに耳を傾け合うことは、さまざまなものの見方や文化を、互いに交わす会話の中にもたらし、共に暮らすことをより魅力的なものにします：それは**シノダリティが美しく現れた姿**です。同じ屋根の下に異なる世代、異なる文化の人が共に暮らすことは、召命を忠実に生き、自分の世界に閉じこもることがないようにと私たち皆に呼びかける挑戦です。こうして私たちの多様な共同体は、自分たちの遣わされる多文化の社会の中で、共に暮らし働くあかし、周りに伝染するあかしをたてるのです。

■ 管区養成担当者、アウト=ヘフェルレー養成共同体院長  
ウィルフリード・ワムベケ神父, SDB

### 振り返りと 分かち合いのために

- 多様性を豊かさとして、自分の生き方と使命に役立つものとして、どのように見ているだろうか？
- 多様性が分断をもたらしてしまうのを、私はどのように防げるだろうか？



Cagliari 11 (カリエロ11)の全バックナンバー：<http://salesians.jp/library/cariero>

# 英国管区で 多様性がもたらす大きな機会



サジュ神父様、英国GBR管区は、会員の出身地という点では最も多様な管区の一つです。13年ここで暮らしてこられた神父様は、この状況をどのようにとらえていますか？

サレジオ会が英国に来て130年以上になります。人々や社会の中のさまざまな共同体、文化の多様性は、サレジオ会の事業、使徒職に合った環境を作り出しています。GBRは宣教師を送り出して来た管区の一つで、また半世紀以上にわたって数多くの英語圏の宣教地に経済支援をしてきました。今日、サレジオ会の存在と置かれている状況は大きく変わりました。GBRは、信徒に、リーダー、導き手、使命における協働者として力をつけてもらうことによって、この変化に応えました。

私は13年以上、この素晴らしい体験に加わっています。初めは神学生として、その後、管区の一員として。自分のサレジオの召命を再発見する素晴らしい体験をしました。ロンドンの地元のサレジオ会の学校は、経済的に貧しい人々が暮らす高層住宅に挟まれて建っています。周りの若者たちは、私たちサレジオの使徒職を待つ豊かな刈り入れに私の目を開かせてくれました。この環境でサレジオ会員であることは、特権です。

## 多様性は、英国のサレジオ会にどのような機会を提供してくれるのですか？

英国に宣教師が来るようになったとき、多くの人が驚き、慎重でした。しかし、宣教師の存在は、サレジオ会員の生活と管区のミッションを豊かにしました。初代教会でそうであったように、宣教師の存在は私たちの管区でより深く根をおろすようになっていきます。宣教師は次のことをもたらしてくれます：

- ・社会の中のさまざまな共同体や文化の中に入って働く機会を広げてくれます。
- ・学校や小教区で働き、遊び場でも共にいる若いサレジオ会員の姿。
- ・地元の専門職の資格を持ち、消費主義社会の挑戦に取り組む用意のある宣教師。
- ・私たちの学校、小教区、霊性センターなどでサレジオ霊性を生きる若者や信徒と共に働き、彼らにリードしてもらって開かれた姿勢。
- ・往々にして私たちの生き方とは逆行する文化の中で、福音的清貧、貞潔、共同体生活のあかしをたてること。

## GBRのサレジオ会の将来について、心配していることはありますか？

サレジオ会は、これまでの歳月の中、確実に成長してきました；管区の中で若いサレジオ会員の存在が目に見えるものになっています。しかし、将来に目を向けると、最も気にかかる問題は、サレジオ会員の道への地元の召命が少ないことです。自分たちの存在とサレジオ会員としての生き方のあかしが、いずれは、ドン・ボスコの足跡に従うようより多くの若者を導くにちがいないという確かな希望に、私たちはとどまっています。



サジュ・ジョン神父, SDB

私はドン・ボスコのサレジオ会員です。若い頃、**サレジオ会の学校**で学び、サレジオ会員から教わるという素晴らしい経験をしました。私はドン・ボスコの生涯と働きに魅了され、ドン・ボスコに従いたいと思いました。

サレジオ会員となって30年、司祭に叙階されてから20年になります。この13年は**GBRの若者たち**の間で、彼らと共に歩み、彼らからインスピレーションをもらってきました。



## ヨーロッパのサレジオ会宣教師

フ  
オ  
ー  
ラ  
ム

2000年から2023年にかけて、  
地中海地域と中央・北ヨーロッパ地域に派遣されたサレジオ会宣教師：189人  
ヨーロッパ・プロジェクトEPに参加した宣教師：146人。  
そのうち17人が退会、37人が元の管区へ帰る、あるいは別の管区へ異動。

EP宣教師を最も多く受け入れている管区：

英国管区GBR：18人、内現在13人  
イタリア南管区IME（アルバニア、コソボ）：18人、内現在12人  
ハンガリー管区UNG：14人、内現在9人

EP宣教師を最も多く送り出している管区：

ベトナム管区VIE：28人  
インド-ティルチ管区INT：10人  
アフリカ中央管区AFC：9人



1月  
サレジオ  
宣教の  
祈りの意向

## 教会における多様性の賜物のために

英国のために



英国のサレジオ家族が、メンバーの多様性に価値を見だし、支持しますように。

キリスト者の諸共同体が頂いているさまざまなカリスマの賜物を認め、  
カトリック教会の多様な典礼の伝統の豊かさを発見できるよう、  
聖霊が私たちを助けてくださいますように、祈りましょう。

| 教皇フランシスコの祈りの意向 |